

TIMES

VOL.3

島のワイン畑からのお便り

昨年から苗木
オーナーになりましたが、新植祭
は今回が初参加です。島の人と外の人が、
できるワインを想像しながら一緒に作業
できるのは楽しいですね！農家さんが
「技」を提供することで、地元の方の活躍の
場になっていることも素晴らしいと思います。

愛媛県越智郡在住・兼頭さんファミリー
(左から) 司さん、玄くん、薫さん



「新しいワイナリー
楽しみたいわー」
「おもしろいわー」

しまなみ初のワイン誕生が待ち遠しい！ 2年目の新植祭も大盛況

イタリア料理店を
営んでおり、私(松永
知子さん)はソムリエの資格も
持っています。しまなみ初のワイン
が完成した暁には、お店を通じて
パッチリ広めていきたいです！

愛媛県松山市在住(前列左から)
松永知子さん、暢彦さんご夫妻
河野千伶さん、山本大介さん



去る3月19日、「大三島みんなのワイナリー」では、苗木のオーナーさんや地元の支援者さんたちと共に葡萄の苗木を植える「新植祭」を行いました。みなさんのおかげで、ついに2年目の開催です。

当日はスタッフも含め70人以上が集結。笑い声いっぱい賑やかな畑で、160本の苗木を一齐に植樹しました。作業後は、畑の成果を眺めながら「大三島みんなの家」の「特製シミールカレー」で青空ランチ。昨年の新植祭にも参加した人は、育った苗をうれしそうに確認しつつ、大盛況のうちにお開きを迎えることができました。

植えた苗は、「マスカット・ベリーA」という日本独自の赤ワイン向け品種。アメリカ原産の力強いラブルスカ種に、ヨーロッパではワインの原料として長い歴史を誇るヴィニフェラ種を合わせ合わせています。果実は黒っぽく大粒ですが、醸造された赤ワインはイチゴのような甘い香りで渋味もまろやかなのが特徴です。

実は、昨年の新植祭で植えたのもこの品種。しかし、葡萄栽培担当の川田運営事務局長曰く、「昨年と今年では植えた畑が違うので、ワインにしたときの味も変わってくると思います。昨年は、以前田んぼだった赤土ぎみの土壌なので、ボディ感のあるしつかりとした風味。今年はさらさらした真砂土なので、香りが出てまろやかな味わいになるかと。秋の収穫を楽しみにしてください！」

大三島でのイベントがきっかけで、ワイナリーの研修生になりました。現在大学4年生ですが、地域に根差した活動に楽しさを感じ始めています！



研修生
堀部 直暉さん
(広島県在住)



獣害対策

11月

開墾 11月～2月

2016年度
下半期

ワイナリー畑レポート

10月以降の葡萄は、葉も落ちて休眠のシーズン。しかし樹の内部では、次の夏に向けて発芽の準備が行われる大切な時期です。

12月には、宮崎県の都農ワイナリーから葡萄栽培培家さんを招き、土作り・剪定講習を実施していただきました。1月からは鶏糞などの肥料や細かく砕いた雑木の散布。植物が養分を吸収する力は、月の満ち欠け(引力)に影響されるので、月齢カレンダーを参考に作業を進行中です。夏場は葉も茂り、美しい畑の風景が広がるでしょう。

大三島とは
こんなところ



©Yusuke Nishibe

瀬戸内海で5番目に大きな島で、人口は約6000人。島の中心部には日本総鎮守と呼ばれる大山神社があり、歴史ある「神の島」としても知られています。温暖な気候に恵まれ、みかんを中心とした農業が盛ん。本州や四国からは「瀬戸内しまなみ海道(西瀬戸自動車道)」で渡ることができ、絶景が臨めます。近年ではサイクリストの聖地としても注目されています。

大三島

みんなのワイナリーとは

農家さんの高齢化で荒れてしまった「大三島」のおみしまのミカン畑をワイナリーの葡萄畑としてよみがえらせるプロジェクトです。代表は、この島を愛し、島内に自らのミュージアムを構える建築家の伊東豊雄。「大三島みんなのワイナリー」は、島の農家さんやこの地に魅かれてやってきた移住者さん、活動を応援して下さる皆さまの協力により、運営されています。



おみしま みんなのワイナリー

大三島 みんなのワインバル通信

大三島みんなの家

営業時間 | カフェ 11:00~16:00 / ワインバル 18:00~22:00
 定休日 | 月曜日 電話 | 0897-72-9377
 住所 | 〒794-1304 愛媛県今治市大三島町宮浦 5562
 メール | info2015@ohmishimawine.com
 ホームページ | <http://minnanoiomishima.wixsite.com/info>
<http://ohmishimawine.com/>



バルの営業が週2回からレギュラーに昇格！

島でワインを楽しむなら、ぜひ「大三島みんなのワインバル」へ。夕暮れになると参道に灯りがともり、木造の趣ある旧・法務局の建物がみなさんをお待ちしています。



12月に開催された「ブラジルナイト」

取りそろえているワインは、ワイナリーの運営事務局長であり、葡萄栽培担当兼ソムリエの川田（色々やっています...）が厳選した品々が常時10種類以上。ワイン造りは、すでに畑の土づくりから始まっているとされる、まさに「農作物」。土にまみれ、畑と毎日向き合うソムリエの話からは、普段と一味違った方向からワインの世界が見えてきます。また最近ではブラジルなどの各国料理とワインを堪能するイベントや、島内外の作り手さんが集まる「プチ参道マーケット」、物々交換のコーナーも新設され、ますます盛り上がり上がってきました。



ワインのお供に、レバーパテやグラタンも

物々交換の品物にはメッセージのタグ付き

ランチメニューは800円から

島で二度花を咲かせた法務局

かたりべ ひでお ともこ
 「三島電業社」菅 英雄さん・知子さん



参道で電気工事業を営むふたりは、「大三島みんなの家」をいつも気にかけてくれる、スタッフにとってもありがたい存在。島の老舗旅館「茶梅」の長女として生まれた知子さんは、昭和52年に英雄さんと結婚。以来、40年にわたり、夫婦で島民の暮らしを守ってくれています。



現在の「大三島みんなの家」。法務局時代の面影が残る

ワイナリーの事務所とバルがある「大三島みんなの家」の建物は、昭和58年まで松山地方法務局の出張所だったんだよ。当時は宮浦港から大山祇神社に続く道は参道だけだったから、法務局の前はいつも人やバスの往来で活気があった。外観は今のままでけど、中の部屋は2つに仕切られていて、入口から向かって右が事務室、左が登記簿などの閲覧室だった。そこには、島で「代書屋さん」と呼ばれていた司法書士が控えていたよ。職員は所長さんと、若手の補助員さんが2人ぐらいいただけで、わりと静かだったね。服装もネクタイを締めないラフな感じだった。実は妻のお父さんが、定年までの2、3年間、所長を務めていたんだ。思い出の場所が息を吹き返すというのはいふれいことだよ。

ワインと私

初めてワインを飲んだのはいつだったか思い出せないが、お酒とは幼いころから親しくさせてもらっている。小学校の遠足では、水筒の中にジュースだと信じてメロンフィズを入れ行つたことがあった。オールドパーを口に含んだ瞬間「おいしい！」と思つたのは中学生だったろうか。成人後は、自分の好みもだんだんとはっきりし、私の好きなワインはカベルネソーヴィニヨンと決まった。とりあえずワインを買う時は、その文字を探した。30代、いただいた5000円クラスのワインがすごく美味しくて、もっと高級なワインはどんなに美味しいだろうと夢想した。念願叶い、超高級ワインを手に入れた。一口。あれ？。二口。美味しくない。三口。ゼーんぜん、美味しくないぞお。そう感じた原因は不明だが、お陰で1000円以下のワインが愛せるようになった。未だに葡萄の品種も産地の名前も全く覚えられないが、楽しく、美味しく飲めればそれでいい。そして今夜も、長い晩酌の時間をスタートさせるのだ。



林 かつえさん
 「大三島みんなのワイナリー」共同代表である夫・豊さんと共に「海sora&花結び アネックス」を運営

前号で募集したワイン川柳には、多数のご応募をいただきありがとうございます。厳正な審査の結果、大賞は梅澤裕子さんのユーモアあふれる作品に決定いたしました！
 今回のテーマは「至福のワイン」。ワインをおいしく感じる瞬間やシ

第2期苗木オーナー募集中!!

「大三島みんなのワイナリー」では、葡萄の苗木オーナーを1口1万円です募集中です。オーナーさんには、4年後の2021年から2024年まで、毎年1本、計4本のワインが進呈されます。また、春の新植祭（表面参照）では、メンバーや地元の方との交流や植樹の貴重な体験をすることもできます。



趣味のロードバイクから、たまたま訪れた大三島の人たちに惚れこみオーナーになりました。これからは、苗木の成長も楽しみに遊びに来たいですね。ワイン完成が待ち遠しい！
 ぼくは、近くの弓削島というところに住んでいますが、新植祭に来て年の近い友だちができたのがうれしかったです！
 大原 真由弥さん・之生さん
 越智 悠月ちゃん 兼頭 玄くん

お問い合わせ | 電話：0897-72-9377 (担当：川田) | メール：info2015@ohmishimawine.com

編集後記

ワイナリーの畑は、元々は地元のみかん農家さんの畑。きっと自分の子供を手放すような淋しさがあったに違いないと思いますが、笑顔で話していただきました。こうした見えない愛情を栄養に、葡萄と私たちは一歩ずつ成長できています。
 森本 百合子

大三島 おでかけInfo. 春夏編

しまカラ FACTORY2017
 島内外の作り手さんが大集結！
 【場所】しまなみ共選場
 【問】しまカラ FACTORY 実行委員会
 shimakarafactory@yahoo.co.jp
 4/16(日)

藤まつり
 延長300mの藤棚は圧巻です
 【場所】大三島藤公園
 【問】藤まつり実行委員会
 0897-82-0500
 5/3(水)祝

大三島参道マーケット
 参道がたくさんのお店で賑わいます
 【場所】大山祇神社参道一帯
 【問】大三島参道マーケット実行委員会
 090-4760-6324 (林)
 5/3(水)祝

大山祇神社御田植祭
 島内から選ばれた16人の早乙女と一人角力は見る価値あり
 【場所】大山祇神社 【問】大山祇神社
 0897-82-0032 (旧暦5/5)
 5/30(火)

三島水軍鶴姫まつり
 迫力の権伝馬レースも！
 【場所】大山祇神社参道宮浦港前広場
 【問】しまなみ商工会大三島支所
 0897-82-0795
 7/16(日)

応募要項

募集期間 | 2017年4月10日(月)から7月31日(月)
 応募方法 | 住所・氏名・電話番号・川柳を明記の上、ハガキ、FAXまたはメールでお送りください。
 宛先 | ハガキ：〒794-1304 愛媛県今治市大三島町宮浦 5562 大三島みんなの家「ワイン川柳」係
 FAX：0897-74-1318
 メール：info2015@ohmishimawine.com

※ 情報は予告なく変更される場合があります 開催時間や詳細は直接お問い合わせください ※ 当選者には事務局からご連絡をし、結果は次号で発表となります。